

令和3年度業務実績評価（案）の概要

資料3-2

全体評価・大項目評価

大項目評価



大項目1

県民に提供するサービス
その他業務の質の向上

A

➤ 高度専門医療・患者支援・医療安全など154件



大項目2

業務運営の改善・効率化

B

➤ 組織づくり・人材確保・経営基盤強化など68件



大項目3

財務内容の改善

A

➤ 予算・収支計画・資金計画など5件



大項目4

県の保健医療行政に協力

A

➤ 新型コロナウイルス感染症・災害時支援など6件



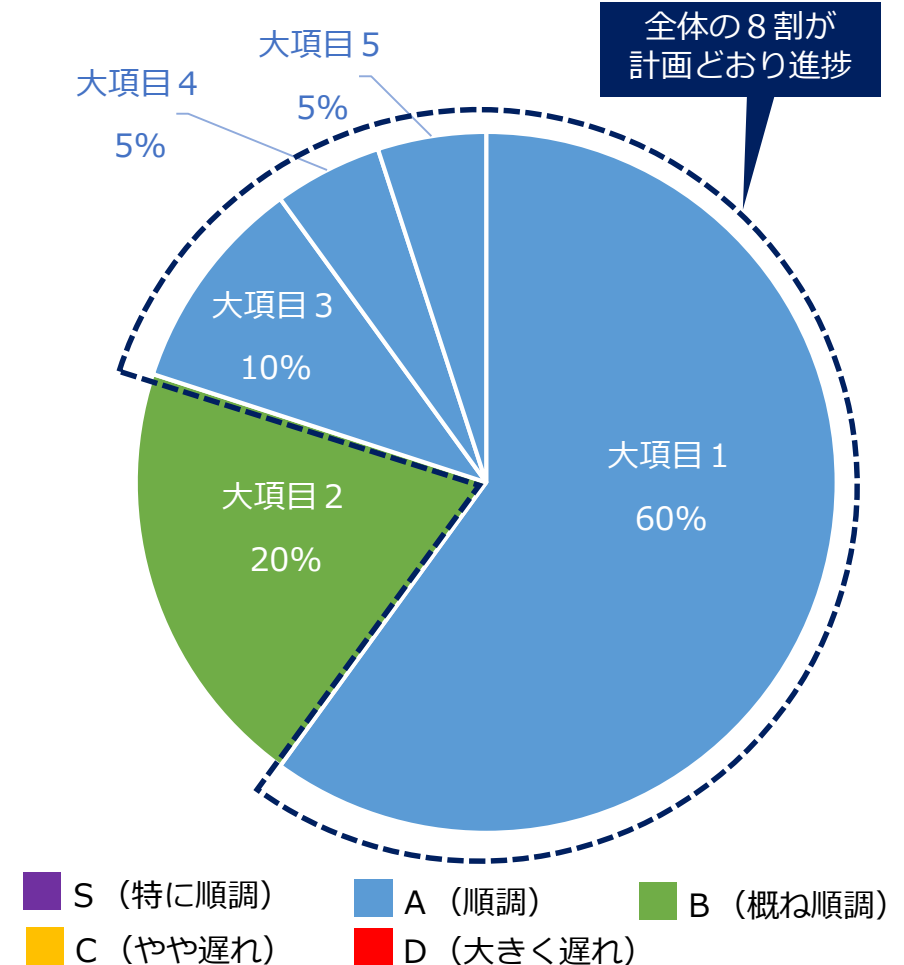
大項目5

その他重要事項

A

➤ 計画的な施設整備・設備更新など5件

大項目のウエイト



全体評価

全体として中期目標の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

令和3年度業務実績評価（案）の概要

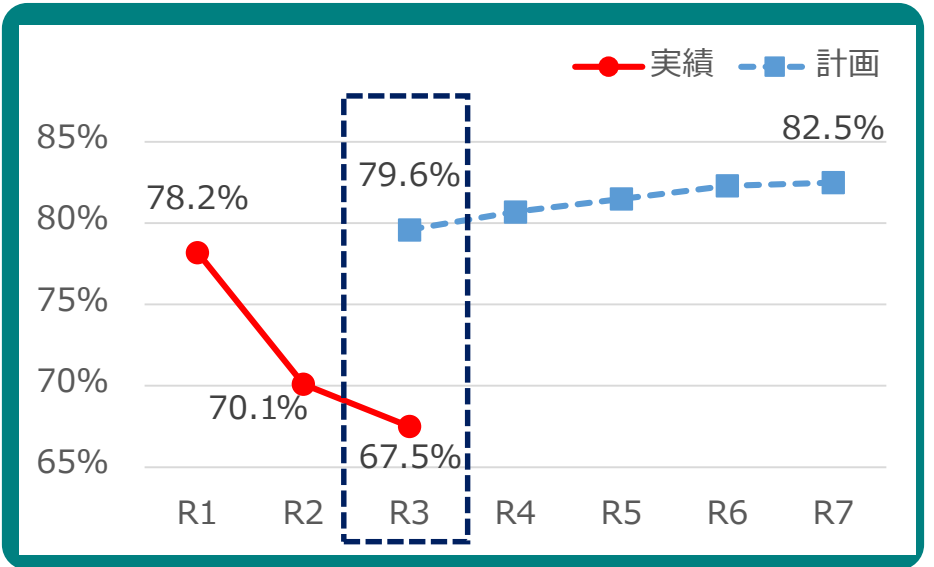
計画未達の主な指標

病床利用率

- 入院延べ患者数はコロナ患者の病床確保などの影響により計画比▲15.2%となった。
- コロナ患者を多く受け入れた循呼・がんの減少が大きく病床利用率（合計）は67.5%となった。

R3 実績		R3 計画	
循呼	54.5% (68,242人)	循呼	75.6% (94,605人)
がん	64.5% (118,415人)	がん	78.7% (144,421人)
小児	80.8% (93,169人)	小児	83.1% (95,867人)
精神	77.0% (51,425人)	精神	83.4% (55,720人)
合計	67.5% (331,251人)	合計	79.6% (390,613人)

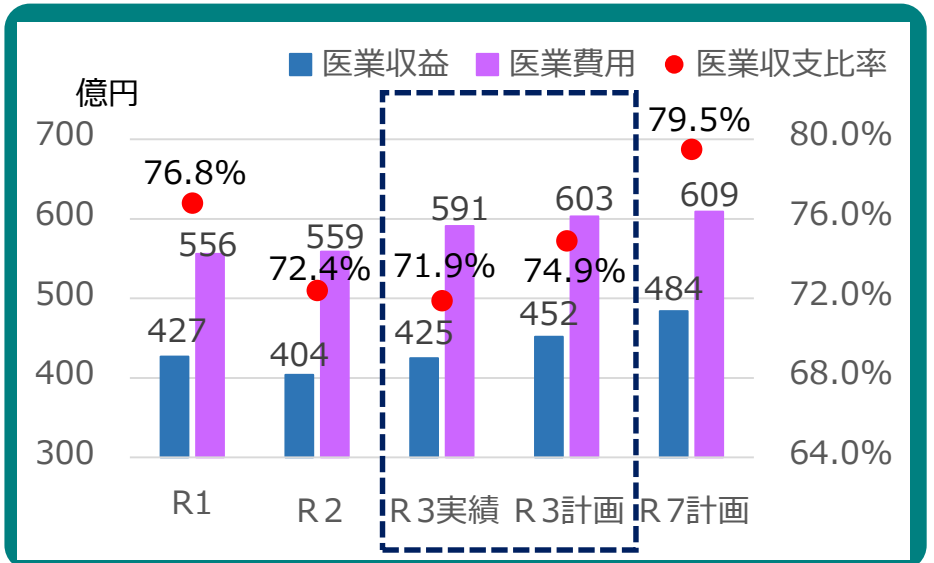
※（ ）は延べ入院患者数



医業収支比率

- 医業収益はコロナ対応に伴う患者数の減少により計画比▲27億円となった。
※コロナ関連等の補助金58億円は医業収益には含まれない。
- 医業費用は材料費の減少などにより計画比△12億円となった。

R3 実績		R3 計画	
医業収益	425億円	医業収益	452億円
医業費用	591億円	医業費用	603億円
医業収支比率	71.9%	医業収支比率	74.9%



令和3年度業務実績評価（案）の概要

主な取組の成果

医療人材の確保

- 医師の年俸制導入やレジデントの常勤化等により常勤医師を87名増員し医療体制の充実を図った。
- 新たに2地区の小児救急医療輪番体制の空白地域に小児科当直医師の派遣を開始した。

常勤職員の状況

	R2.4.1	R3.4.1
医師	309人	396人
看護師	1,548人	1,632人
医療技術職	379人	381人
事務職等	149人	136人
合計	2,385人	2,545人

小児救急医療輪番体制空白地域への小児科当直医師派遣



- 病床確保計画のフェーズに応じ感染者急増時には最大167床（うち重症30床）を確保した。
- 令和3年度は801人（うち重症者142人）の患者を受け入れた。

新型コロナウイルス対応

